典礼のしおり

O Domingo
PANIB 発行
N° 47
02 - 11 - 2026

諸死者の日

兄弟の皆さん、亡くなったすべての死者を記念するに当たって、教会は命の神との一致のうちに亡くなった人々のために祈るよう私達を招きます。この日、私達はこの地上における私達の存在が、過ぎゆくものであることを思い出します。しかし、それは復活に対する私たちの信仰を失わせるものではありません。神の愛の賜物である復活の確信によって慰められます。

私たちに忠実と愛の模範を残してくれた多くの人々に続くよう努力いたしましょう。

入祭唱

イエスが死んで復活されたように、神は、イエスのうちに眠った人々をイエスとともに連れて来られる。アダムによってすべての人が死ぬ者となったように、キリストによってすべての人が生きる者となる。

集会祈願

恵み豊かな神よ、復活された御子キリストに従うわたしたちの信仰を強め、死者の復活を待つわたしたちの希望を不動のものとしてください。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

※朗読の解説

私たちの命は、この世における私たちの存在のわずかな年月に要約されるものではありません。私たちは永遠のために創造されたのです。主が常に生きておられるように私たちも復活において彼と共に永遠に生きるのです。

第一朗読（ヨブ19章1、23～27）

ヨブは答えた。
どうか、わたしの言葉が書き留められるように、碑文として刻まれるように、たがねで岩に刻まれ、鉛で黒々と記されいつまでも残るように。わたしは知っている。わたしを贖う方は生きておられ。ついには塵の上に立

たれるであろう。この皮膚が損なわれようとも、この
身をもって、わたしは神を仰ぎ見るであろう。
このわたしが仰ぎ見る、ほかならぬこの目で見る。腹の
底から焦がれ、はらわたは絶え入る。
「我々が彼を追い詰めたりするだろうか」と、
あなたたちは言う。この有様の根源がわたし自身にあ
ると、あなたたちは言う。

答唱詩編　典 123〇1 〇2 〇4（詩編 23・2＋3、4、6）
※日曜日でない場合、詩編は〇1 〇4 をうたう。
先・主はわたしの光、わたしの救い
全・主はわたしの光、わたしの救い

主はわたしの救い、
わたしは誰をはばかろう。
主はわたしの命の岩、わたしは誰を恐れよう
全・主はわたしの光、わたしの救い

わたしは主に一つのことを頼み、
それを求めている。
生きている限りずっと主の家に住み
主の目の美しさに目を留め、
その聖所を眺めることを
全・主はわたしの光、わたしの救い

主よ、聞いてください、わたしは呼ばわる。
私を憐れみ、私に答えてください。
主よ、私はみ顔を探し求める。
み顔を背けないでください。
全・主はわたしの光、わたしの救い

私は信じる、主の慈しみをみることを
生きる人々の地に。
主に望みをかけ、心を強く、たくましくも
主に望みを置け。
全・主はわたしの光、わたしの救い

第二朗読　一コリント 15 章 20-24a ・ 25--28
しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠り
についた人たちの初穂となられました。死が一人の人
によって来たのだから、死者の復活も一人の人によっ
て来るのです。つまり、アダムによってすべての人が

死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属している人たち、次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての権威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。

アレルヤ唱
アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。
「私の父のみ旨（むね）とは、子を信じる人々に皆、永遠の命を受けさせ、終わりの日に私が彼らを復活させることである。」とおおせられる。
アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ルカによる福音　12章35～40
「腰に帯を締め、ともし火をともしていなさい。
主人が婚宴から帰って来て戸をたたくとき、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。
主人が帰って来たときに目を覚ましている僕たちは幸いである。主人が自ら帯を締め、彼らを席につかせ、進んで給仕をしてくれる。
夜中であっても、その後の夜明けであっても、僕たちがそのようにしているのを見れば、その僕たちは幸いである。
家の主人は、盗賊がいつ来るか分かっていれば、自分の家に押し入らせはしない。
だから、あなたがたも用意していなさい。思いがけない時に人の子は来るからである」。

信仰宣言

共同祈願（きょうだいきがん）
兄弟（きょうだい）の皆（みな）さん、死と生命の主である御父なる神に、全（すべ）ての生ける人と死せる人のために救いと平和をお祈り致しましょう。
全・主よ、あなたへの私たちの信頼を再び燃え立たせてください！
1・教会のために祈りましょう。神の国の良き知らせを宣べ伝えるという使命において、教会が光に照らされ、隣人との連帯を通して自らを準備したすべての人々がその使命にあずかることができるように。

全・主よ、あなたへの私たちの信頼を再び燃え立たせてください！

2・苦しみ、落胆しているキリスト教共同体の兄弟姉妹のために祈りましょう。彼らがキリストの復活の光に照らされ、神への希望を再び燃え立たせることができるように。

全・主よ、あなたへの私たちの信頼を再び燃え立たせてください！

3・ここに集まった私たちすべてのために祈りましょう。私たちが信仰において成長し、神の愛を体験した実りとして、善行を実践する者となることができるように。

全・主よ、あなたへの私たちの信頼を再び燃え立たせてください！

4・主よ、亡くなった方々のために祈ります。神と共にあって永遠の幸せと完全な平安を得ることが出来ますように。

司・全能、永遠の神よ、あなたは人間をご自分の似姿として創造なさいました。この世からあなたの許に、召された人々に光りと平安を与え、私たちに不滅の未来の慰めをおあたえください。主キリストによって。アーメン。

奉納祈願

いつくしみ深い父よ、ここにささげる供えものを受け入れてください。亡くなった人々が御子の復活のいのちにあずかり、わたしたちも、この秘跡によってキリストに結ばれますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願

いつくしみ深い父よ、御子キリストの過越の神秘にあずかり、世を去った人のために祈ります。亡くなったすべての人が、光と平和の国に導かれますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。